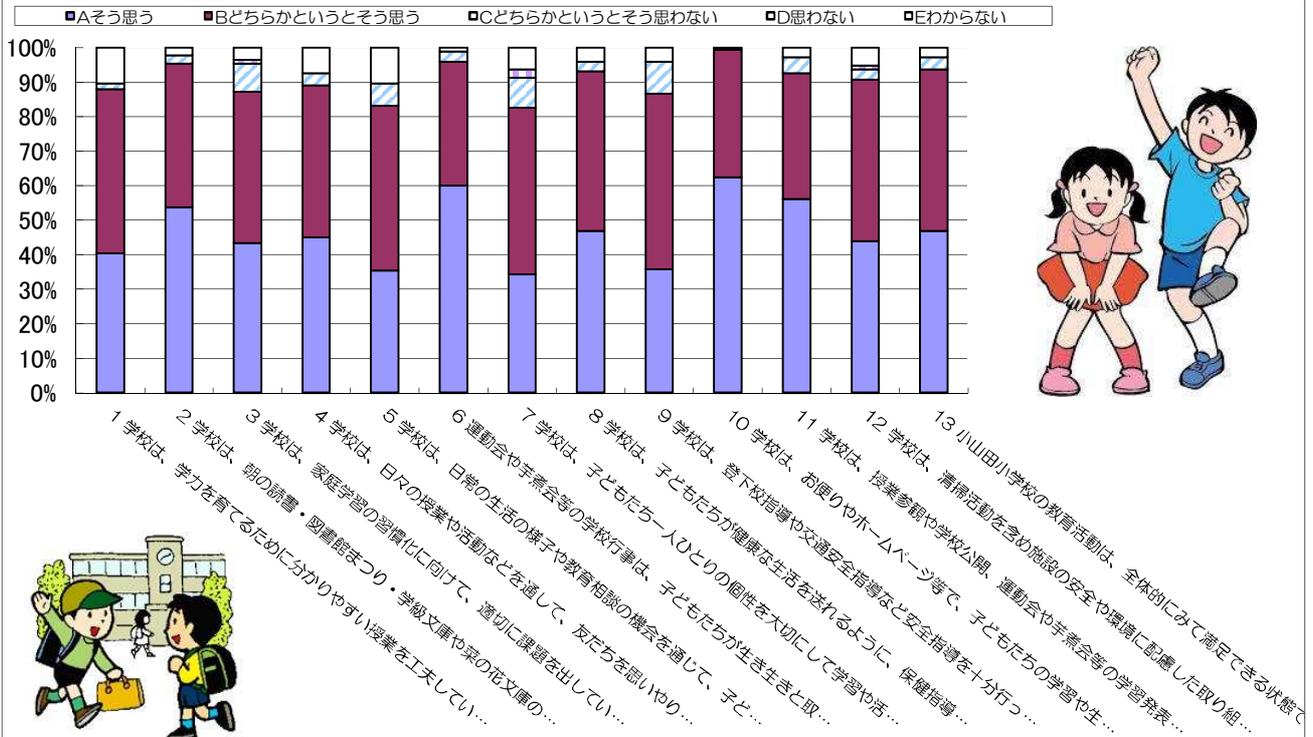




学校だより

令和3年 2月15日
第18号
四日市市立小山田小学校

令和2年度保護者アンケートの結果より



考察【保護者アンケート】

○「わかりやすい授業を工夫していると思うか(※)」には87.9%(ほぼ昨年度並)の方から肯定的評価をいただいています。「子どもたち一人ひとりの個性を大切に学習や活動の意欲を持たせている(※)」については、82.6%(1.5ポイント増)でした。家庭学習の習慣化(宿題等の課題)への取り組みについては、87.3%(昨年度より4.3ポイント増)でした。授業については、一昨年度から算数科を中心に習熟度別の少人数指導を取り入れ、家庭学習については昨年度から子どもが主体的に家庭学習を行う「プラス1」の取り組みを行っています。本年度からは学習指導要領(文部科学省が定める指導過程の基準)が新しくなり、教科書や指導内容も変わりました。全国学力・学習状況調査や大学入学共通テストでは、知識だけでなく、資料を読み解いたり考えたりする力、表現する力も求められています。職員一同研修に励み、興味が持てるわかりやすい授業づくりについての工夫や取り組みを続けるとともに、保護者の皆さまと連携しながら、新しい時代に向けた歩みを進めていきたいと考えます。

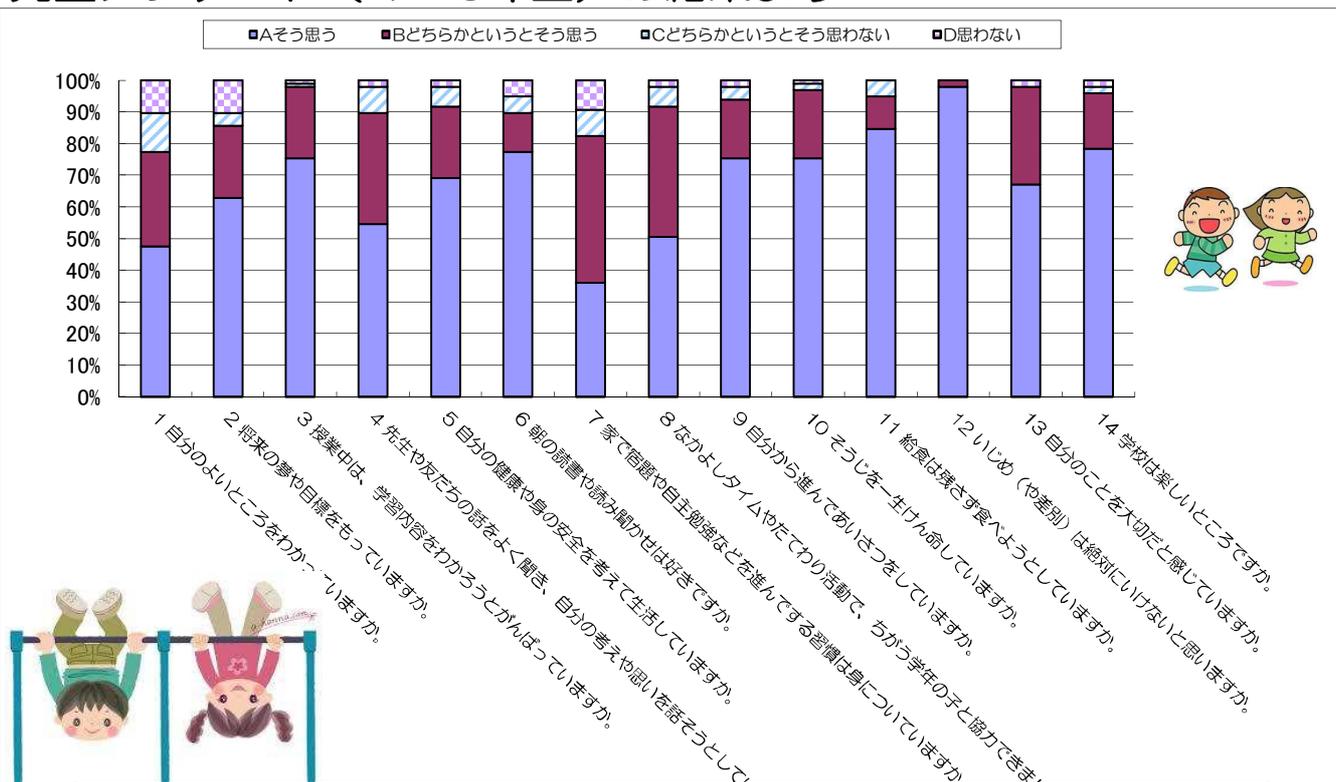
○「本に親しむ子を育てているか」については、95.4%の方が肯定的に感じてみえます(昨年度より1.6ポイント増)。学校では、「あさかぜタイム」での朝読書、なな花文庫(市立図書館との連携)による学級文庫充実、学校図書館司書によるブックトークや読書支援、委員会を中心とした図書館まつり等の取り組みを行っています。これらに加え、今年度はコロナ対策のため機会が減りましたが、図書支援員の皆さんによる絵本や紙芝居の読み聞かせも、本と出会う貴重な機会になっています。3年生以上では、授業時数確保のため朝の短時間学習があり、その分、本に接する機会が減りましたが、授業での図書館利用(並行読書、調べ学習等)や学級文庫の活用等、新刊図書の紹介など、司書とともに本に接する機会を大切にしていきたいと思えます。

○「学校生活や学習環境の礎になる部分である「友だちを思いやり豊かな心を持った子を育てようとしていると思いませんか(※)」については、肯定的な評価がそれぞれ88.9%、83.1%でした。いずれも昨年を4ポイント以上上回りました。今後も家庭と連携を密に、Q-Uや教育相談等も生かし、全職員で子どもたちひとりひとりにしっかり向き合いたいと思えます。「運動会や芋煮会等の学校行事は、子どもたちが生き生きと取り組む場になっているか」については、肯定的な評価が96%で昨年度より2ポイント減でした。感染症対策で十分な行事が開催できず残念ですが、そんな中でもよい評価や励ましのお言葉をアンケートを通じていただきました。昨年度から本校は地域とともに学校づくりを行うコミュニティスクールを始めました。学習面だけでなく、子どもたちが思いをもって自分らしく活躍できる学校であるよう、また子どもたちが生きる力、つながる力をさらに身につけられるよう地域一体となり努めたいと考えます。

○「子どもたちの安全や健康にかかわる項目について、「避難訓練、登下校指導や交通安全指導などの安全指導」は、昨年並の86.7%(1.1ポイント減)でした。登下校指導や町別児童会、通学班指導等を行っています。子どもたちの安全安心のため、地域やPTAとも連携を大切にしていきたいと考えています。学校施設面での安全や清掃等の環境面については、90.8%(昨年より1ポイント増)の肯定的評価でした。養護教諭や学校栄養職員とともに進める保健指導や食育指導等については、93.1%(昨年比1.1ポイント増)となっております。行政等とも連携し、一層安心安全な学習環境の構築とともに健康指導等を充実させていきます。

○「本校の教育活動全般については、昨年より1.6ポイント増の93.6%の方から「全体的に満足できる」と肯定的な評価をいただきました。今年度は、全項目の平均が90.6%、半数以上の項目で90%以上の肯定的な評価をいただいています。全13項目のうち9項目は昨年度を上回りました。一方、アンケート全体を通してE「わからない」への回答が平均で5%、特に(※)印は10%以上もありました。その結果、肯定的評価の平均が全体で5%下がっています。昨年度を下回った項目や90%に満たない項目については、今後も学校教育ビジョンをもとに重点的に取り組みたいと思えます。Eの多い項目については、お便りやホームページ等での情報発信(満足度99.4%、Eを除けば100%)、授業参観や学校公開・行事等の場(満足度92.5%、5ポイント減)の機会に教育活動についてお知らせや公開をしています。状況をより一層ご理解いただくようこれからも情報発信に努めてまいりたいと思えます。また、個々にいただいたご意見や、各項目の結果を真摯に受け止め、保護者の皆さまのご支援、ご協力をいただきながら、職員一丸となりよりよい教育活動を展開していきたいと思えます。

児童アンケート（4～6年生）の結果より



考察【児童アンケート 4～6年生】

- 「学校は楽しいところか」の問いには、4年生以上の95.9%が肯定的に答えました。昨年より3名(3ポイント)減となりましたが、コロナ禍で制約が多く楽しい行事等も減っている中でも、ほとんどの児童が楽しく学校に通っているのはうれしいことです。どの子も楽しい学校だと感じることができるよう、一人一人しっかり見つけ、それぞれの思いに寄り添った取り組みを更に進めてまいります。
- 学習に関しては、97.9%の児童が「授業中、学習内容をわかっていけるか」と回答しています(昨年度と同値)だが、「先生や友だちの話をよく聞き、考えや思いを話そうとしているか」に肯定的な回答をした児童も、昨年度同様の89.7%でした。グループ学習やペア学習等の制限のなか、マスクを通してでも積極的に学習に参加しようとする様子が見えつつあります。ただ、「家で宿題や自主勉強などを進んでする習慣が身についているか」については82.5%でした(7.8ポイント減)。結果から、子どもたちが授業中頑張っている姿は見えますが、基礎学力の定着や自ら学ぶ力をつけるのに家庭学習は大変効果的です。引き続きご家庭でも声かけと励ましをよろしくお願いいたします。
- 「朝の読書や読み聞かせは好きか」については、89.7%が肯定的でした(昨年比3.8ポイント減)。コロナ禍での読み聞かせ中止、朝の短時間学習(3年生以上)、家庭でのゲームや動画サイト等の普及で読み聞かせや読書の時間等が取りづらい背景もありますが、学校図書館司書とともに授業や休み時間、図書館まつりなどの機会を通して本に親しむ機会を確保していきたいと思えます。図書ボランティアの皆さんによる読み聞かせも少しずつ再開しています。ご家庭においても、親子読書等、本に親しむ機会を設けていただければと思います。
- 「将来の夢や目標をもっているか」については、85.6%の児童が肯定的(昨年度同様)でした。昨年から新たに追加した「自分のことを大切に感じていますか」については、97.9%(4.4ポイント増)が肯定的に回答しました。この設問で否定的な回答がゼロではないところと「自分よりよいところをわかっていますか」77.3%(昨年比6.6ポイント減)については、とても気になることです。それぞれが自分の好きなことや得意なことを自覚し、自己肯定感を高めたり、夢や目標を持てるよう励ましや評価を行い、目的意識をもって主体的に学校生活を送ることができるようにしていくとともに、市全体としても始まったキャリアパスポートの取り組みなど、キャリア教育の視点からも日々の教育活動をとらえていきたいと思えます。
- 「いじめ(や差別)は絶対にいけないと思いますか」について、肯定的意見は今年度も100%でした。しかし現実的にはいじめや差別につながるような言動があり、日々指導を行っている状況です。児童の実態把握に努め教育相談等を充実するとともに、「自分から進んであいさつをしている(93.8%、昨年並)」など人とのつながりを大切にしたり、正しいと思うことを行動できる仲間づくりや、道徳・人権教育のさらなる充実を図っていきたくと思えます。
- 「なかよしタイムなどの活動で、ちがう学年の子と協力できたか」には取り組みの回数が少なかったものの91.8%が肯定しています(1.7ポイント減)。行事減少の中、登下校やクラブ活動、掃除の時間など様々な場面で低学年に優しく接したり、一所懸命取り組もうとする高学年の姿が見られます。「掃除を一生けんめいしている」との回答(96.9%、微減)とともに、集団での活動を協力して取り組もうとする本校児童のよさだととらえています。
- 「給食は残さず食べようとしているか」の問いには94.8%が肯定しました(3ポイント減)。また「自分の健康や身の安全を考慮して生活しているか」は、4.2ポイント増の91.8%(昨年より5ポイント減)でした。子どもたちの中には日々、感染への不安を抱えている子もいます。感染予防を確実に、好き嫌いをなく食べたり早寝早起きをしたりなど望ましい生活習慣を心がけることや、健康・安全に注意した遊びや登下校などで心身の健康や命を守るなどについて、今後も大切に伝えていきたいと思えます。
- 肯定的な回答の平均は約91.8%となり、昨年度より2.4ポイント減でした。コロナウィルス感染症の影響は、子どもたちの心に少なからず影を落としているとは日々感じますが、90%を超える小山田っ子が生き生きと学校生活を送っていることに安どしています。小山田っ子の素晴らしい伝統でもある掃除を進んでやろうとする姿、あいさつ、予鈴で動く姿等、素晴らしいところを認め、励まし、自信や自尊感情を育てていきたいと思えます。